

## 0～5歳児の特徴

### ◆ 出生～1歳頃 ◆

- 授乳の際は、赤ちゃんの目を見てアイコンタクトを。
- 泣くことは赤ちゃんのコミュニケーション。

### ◆ 1歳～2歳頃 ◆

- 何でも自分でやろうとする気持ちが芽生える。
- 言葉をどんどん吸収し、言葉の数が増える。

### ◆ 2歳～3歳頃 ◆

- 食事や着替えなど自分一人でしたがるようになる。
- 好き嫌いや自己主張をするようになる。

### ◆ 3歳児 ◆

- 基本的な生活習慣を身に付け始める。
- 日常的な会話が交わせるようになる。
- まだ他者の気持ちを想像することはできず、自分なりに自信や確信をもったことをやりたがる。

### ◆ 4歳児 ◆

- 疑問に思ったことを尋ねるようになる。
- 「約束」の意味が理解できる。
- 他者の考えや気持ちを推測することができるときもあれば、できないときもある。

### ◆ 5歳児 ◆

- 基本的な生活習慣は、ほぼ身に付く。
- 自分の名前や文字に興味・関心がでてくる。
- 3・4歳に比べ、他者の気持ちが想像できるようになる。



0～3歳児の特徴



3～5歳児の特徴



## 読み聞かせの時間



読み聞かせの時間は、親と子どもの思いが深く結びつく、すてきな時間になります。そして、考える力や豊かな心を育てていきます。短い時間でもよいので、子どもと絵本の世界を楽しみましょう。

◎「読み聞かせ貯金通帳」へリンク

### ◆ 家庭教育応援ナビ ◆ 「すくすく育て いばらきっ子」

子育てに関する学習機会と情報を提供するポータルサイトです。  
→「茨城県 家庭教育応援ナビ」で検索!

#### ★主なコンテンツ内容★

- ・家庭教育支援資料【モバイル版】【PDF版】
- ・家庭教育コラム
- ・子育て相談Q&A
- ・自然体験活動プログラム
- ・おすすめの本紹介
- ・子育てに関する相談窓口
- ・いばらきっ子が家のおやくそく8か条
- ・イベント、講座情報 など



家庭教育応援ナビ



ツイッター

発行 令和2年8月  
編集 茨城県教育庁総務企画部生涯学習課  
就学前教育・家庭教育推進室  
〒310-8588  
茨城県水戸市笠原町978番6  
TEL 029-301-5132

## 子育てアドバイスブック ひよこ

### ダイジェスト版



0～5歳の子をもつ保護者向け



## 心の安全基地



子どもは、いろいろな体験を通して、自らの心の世界を広げていきます。その成長の中で、心のよりどころとなるのが家庭です。未知の世界へと歩みを進める子どもにとって、家庭は「心の安全基地」であると言えます。

### ★ダイジェスト版の使い方★

- 本紙は「子育てアドバイスブックひよこ」（令和元年7月発行）をもとに作成しています。
- 付記のQRコードから家庭教育応援ナビ「すくすく育て いばらきっ子」にアクセスし、項目ごとの詳しい情報を得ることができます。
- 「子育てアドバイスブックひよこ」の一括表示は、右のQRコードからPDF版にアクセスしてください。



家庭教育応援ナビ



ひよこモバイル版



ひよこPDF版



茨城県教育委員会  
Ibaraki Prefectural Board of Education

## あいさつと返事



あいさつと返事は、幼児期からの習慣が大切です。  
子どもが元気よくあいさつできたら、「いいあいさつだね」「気持ちよかったよ」と伝えましょう。

## きまりを守る



子どもは、身近な大人のすることを真似します。  
きまりを守れるよう厳しくしつけるよりも、親は自らの行動でお手本を示してあげましょう。

## メディアの視聴



メディアは上手に利用することが大切です。  
メディアに子守をさせる状態を避けるためにも、家族でルールを決めて接するようにしましょう。

## お手伝い



人の役に立つうれしさや満足感は、人のために何かをしようと考へたり、思いやりの心を育てたりします。  
失敗しても叱らず、温かく見守りましょう。

## 早寝早起き朝ごはん



心身の成長期にある子どもにとって「食事」と「睡眠」は極めて重要なものです。  
早寝早起き朝ごはんを習慣化し、生活リズムの確立をしていきましょう。

## 話を聴いて



話を聴いてくれるというのは、「愛されている」と感じる瞬間です。  
子どもは、話をしながら頭の中で考えをまとめ、思考力を深めていきます。  
話をゆっくり聴いてあげましょう。

## いろいろな体験活動



子どもは、いろいろな体験を通して成長します。遊びに夢中になることで、やる気、意欲、粘り強さ、探求する力が身についていきます。  
子どもの「やってみたい」という思いを大切にしましょう。

## 自己肯定感を育む



自己肯定感とは、「自分は大切な存在だ」「自分はかけがえのない存在だ」と、子どもが思えることです。  
大切に思っている気持ちをしっかりと伝えましょう。子どもは心が満たされ、安心します。



◆ 各項目の詳しい情報や、病気・事故の予防・対応、困ったときの相談窓口など、子育てに関する情報がたくさん載っています！

→ モバイル版へアクセス

